

指定管理者評価シート

事業名	公立保育所等運営費	所管課(電話番号)	子ども未来局子育て支援部施設運営課(211-2986)
-----	-----------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大通保育園	所在地	札幌市中央区大通東4丁目5-1
開設時期	昭和62年1月1日	延床面積	612.28㎡
目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)39条の規定に基づく保育所として、保護者の労働、疾病その他の事由により、その監護すべき児童について保育を必要とする場合、当該児童を保育すること。		
事業概要	保育事業		
主要施設	保育室、乳児室、遊戯室、事務室、調理室		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人ろうふく会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:施設利用者との継続的な信頼関係が求められるため、非公募としたもの。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設の維持及び管理。保育の実施及び保育の実施に付随する業務。		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 利用者の意向を尊重し、多様なサービスが適用されるよう工夫し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的とし、事業をおこなっている。	利用者の意向、ニーズに応えられるよう、最善の努力をし、利用者には、理解を得ながら運営できた。また、様々な保育事業を行い、情報を提供し、子育て支援の一環を担うよう意識した。	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: #ffcc00;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。	A	B	C	D
	A			B	C	D	
	▼ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 利用者や地域住民のニーズに応え、時間外保育、一時保育、夜間保育を行い、また情報提供を行っている。						
	▼ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 電気、ガス、水道料の比較を行い、使用料を削減する努力を行っている。また、LED照明に変更し、削減に努める。						
▼ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)							

統括責任者が職務を担えなくなった場合、それに代わる代理者を設置している。また、業務分担指揮命令系統、連絡系統を定め、それを周知している。職員育成の点では、様々な保育団体の主催する研修会に参加したり、園内研修を活用し、知識を深め、保育の質の向上に努めている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

施設管理、維持向上へ向け、改善すべき点があれば、情報、意見を出し合い、検討したうえで、見直し、改善を行っている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

消防設備、夜間警備を統括して行い、園場事態に備え、円滑に通報等が行われるよう、業務委託業者との連絡系統を明確にしている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	園舎保全について
<協議会メンバー> 未来局 (各担当者2名)様 法人理事長、事務局長、園長	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

資金管理については、管理指定業務、自主事業ごとの監査を実施している。また、公認会計士による、がん部監査を導入している。現金のとりあつかいについては、毎月、出納帳、総勘定元帳を記帳することにより管理している。また、今後、日次の小口現金の出納を行っている。

▽ 要望・苦情対応

苦情処理規定を策定し、職員及び、保護者に周知している。また、日々の苦情等については、意見箱を設置し、それについての回答を行っている。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

利用者アンケートを実施し、結果報告を行っている。

安全マニュアルを再度、作成し、地震、停電での連絡系統をどのようにするか、職員間で周知していく。また、災害時の保護者への連絡方法など、何通りかの方法を検討して実施していく。

年に数回は、会議等で改めて確認をしい、緊急な対応ができるように準備した。また、苦情等があった際には、報告等をお怠らず、対応も個人が考えるのではなく、園長、主任も加わり、適切に対応できるようにする。年2回の設備点検を行い、不備があれば、迅速に交換、整備を行った。

園舎保全についての協議は、今後も行っていく。

適正に行っている。

苦情があった場合は、都度対応し、担任、園長、主任が対応した。今後も、利用者の意見を受け入れやすい体制を作り、対応していく。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時給労働者に対し、最低賃金以上に支給を行っている。 ・時間外労働、深夜勤務等それぞれ法定割合以上の割増賃金を支給している。 ・週39時間労働、一日8時間労働を厳守した。 ・すべての労働者を労働保険に、条件を満たす労働者は、雇用保険に加入させた。 ・雇用時に健康診断を行った。 ・労働者の勤務形態、家族状況に応じて、年金保険、医療保険に加入させた。 ・労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ・正規職員を雇用する際、現在の非正規職員からの希望者を募り、内部登用試験を行い、正規採用者として契約した。 	<p>就業規則、給与規定に則り、適正に行うことができた。正規雇用に関することは、園内に掲示し、非正規職員に周知した。</p>	<p>A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。</p>																								
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアルを策定し、職員間での連携、安全確保に努めている。 ・損害賠償保険は、使用に適したものに加入している。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>日々の清掃、点検、管理、それぞれの管理帳を作成し、各担当が、日、週、月に必要に応じて、点検管理を行っている。</p> <p>▽ 防災</p> <p>毎月1回、年2回の総合訓練を行い、様々な場面を想定しての訓練を行っている。</p>	<p>9月の地震をきっかけに、マニュアルを見直した。また、会議等で、連絡手段がなくなった際の対応等にも、確認した。</p> <p>防火管理者立ち合いで、年2回行った。また、様々な災害を想定し、行うことができた。</p>	<p>A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。</p>																								
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 保育実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 保育時間 7:00~0:00 ▼ 児童数(該当年度3月1日児童数)※()内は夜間 <table border="1" data-bbox="384 1469 868 1731"> <thead> <tr> <th></th> <th>定員</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児</td> <td></td> <td>7(4)人</td> <td>7(1)人</td> </tr> <tr> <td>1~2歳児</td> <td></td> <td>17(6)人</td> <td>20(6)人</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td></td> <td>9(3)人</td> <td>10(2)人</td> </tr> <tr> <td>4~5歳児</td> <td></td> <td>18(7)人</td> <td>20(5)人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60(30)人</td> <td>50(20)人</td> <td>57(14)人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 職員数 最低基準の保育士の確保はできたが、産休代替の保育士の確保は次年度になった。 ▼ 行事の実施 園内での季節の行事、園外では、運動会、発表会、親子遠足を行っている 		定員	H29実績	H30実績	0歳児		7(4)人	7(1)人	1~2歳児		17(6)人	20(6)人	3歳児		9(3)人	10(2)人	4~5歳児		18(7)人	20(5)人	計	60(30)人	50(20)人	57(14)人	<p>保育士の確保はできたが、0歳児クラスの人数が安定していなく、入所がなかったり、退所になったりがあった。</p> <p>産休代替の保育士が補充できなかったが、保育に影響はなく、運営することはできた。行事では、運動会が地震の影響により延期になった。後日、急きょ会場を借り、プログラムを変更して行うことができた。</p>	<p>A B C D 法令を遵守しながら、事業計画に基づき保育事業を実施している。</p>
	定員	H29実績	H30実績																								
0歳児		7(4)人	7(1)人																								
1~2歳児		17(6)人	20(6)人																								
3歳児		9(3)人	10(2)人																								
4~5歳児		18(7)人	20(5)人																								
計	60(30)人	50(20)人	57(14)人																								

	▼ 健康診断の実施 年6回、嘱託医による内科検診を0歳児から5歳児まで行っている。														
(5)施設利用に関する業務	▽ 保育に付随する業務の実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(内容)</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長保育(通常分～1時間延長)</td> <td>163人</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>延長保育(夜間保育～2時間延長)</td> <td>168人</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td>一時保育(時～時)</td> <td>53人</td> <td>73人</td> </tr> </tbody> </table> ※ 実績は該当年度延べ利用児童数	種別(内容)	H29実績	H30実績	延長保育(通常分～1時間延長)	163人	91人	延長保育(夜間保育～2時間延長)	168人	144人	一時保育(時～時)	53人	73人	例年と変わらず、サービスの提供ができた。	A B C D 札幌市の施策である時間外・夜間・一時保育の実施に努めている。
種別(内容)	H29実績	H30実績													
延長保育(通常分～1時間延長)	163人	91人													
延長保育(夜間保育～2時間延長)	168人	144人													
一時保育(時～時)	53人	73人													
(6)付随業務	▽ 広報業務 法人HP内で公開 ▽ 引継ぎ業務 前回からの継続指定のため引き継ぎなし	更新を行った際は、園だよりでお知らせに、保護者に周知している。	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。												
2 自主事業その他															
▽ 自主事業 該当なし ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 給食材料、教材、消耗品、業務委託など発注はできるだけ、市内業者にしている。		積極的に、市内の業者の利用を行っている。	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。												
3 利用者の満足度															
▽ 利用者アンケートの結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施方法</th> <th>紙面にて、無記名アンケート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結果概要</td> <td>①とても良い②良い③普通④あまり良くない⑤良くない 1.施設の利用①40%②50%③7%④3パーセント 2.施設の整備①37%②43%③17%④3% 3.保育園の行事①47%②50%③3% 4.保育園の食事①40%②43%③13%無回答1家庭 5.職員の対応①50%②44%③3%④3% 6.保育サービス①40%②50%③10%</td> </tr> <tr> <td>利用者からの意見・要望とその対応</td> <td>・日祝日の保育園がもっとあればよい/日祝日に保育してくれる施設が場所も時間も不便で利用できない。社会的には、無償化の方が大きく取り上げられているが、日祝に勤務できないことで、継続が難しかったり、昇進できない等が起こり、短時間でのパート等しかできなく悪循環である。 → 中央区に休日保育が1園増えたことをお知らせした。建物の構造上難しいかもしれないが、ホールの床が冬は冷たく足全体が冷えている。安全の観点から裸足での活動は理解していますが、体の冷えが心配です。他、床暖を入れてほしいなど1件 →現状では、床暖を入れる等の対応は難しいため、保育室内にじゅうたんを敷く、室温に配慮する、また、保育室内で遊んでいるときには、靴下をはく等の対応をすることを伝える。</td> </tr> </tbody> </table>	実施方法	紙面にて、無記名アンケート	結果概要	①とても良い②良い③普通④あまり良くない⑤良くない 1.施設の利用①40%②50%③7%④3パーセント 2.施設の整備①37%②43%③17%④3% 3.保育園の行事①47%②50%③3% 4.保育園の食事①40%②43%③13%無回答1家庭 5.職員の対応①50%②44%③3%④3% 6.保育サービス①40%②50%③10%	利用者からの意見・要望とその対応	・日祝日の保育園がもっとあればよい/日祝日に保育してくれる施設が場所も時間も不便で利用できない。社会的には、無償化の方が大きく取り上げられているが、日祝に勤務できないことで、継続が難しかったり、昇進できない等が起こり、短時間でのパート等しかできなく悪循環である。 → 中央区に休日保育が1園増えたことをお知らせした。建物の構造上難しいかもしれないが、ホールの床が冬は冷たく足全体が冷えている。安全の観点から裸足での活動は理解していますが、体の冷えが心配です。他、床暖を入れてほしいなど1件 →現状では、床暖を入れる等の対応は難しいため、保育室内にじゅうたんを敷く、室温に配慮する、また、保育室内で遊んでいるときには、靴下をはく等の対応をすることを伝える。	年1回の利用者アンケートの他、日々の苦情、要望等に対応できるようにし、できるだけ、直接話をし、回答できるようにした。また、それによって、理解を得ることができた。	A B C D 満足度は高い評価を得ている。利用者からの意見・要望にも対応でき、良い信頼関係を築いていると思われる。							
実施方法	紙面にて、無記名アンケート														
結果概要	①とても良い②良い③普通④あまり良くない⑤良くない 1.施設の利用①40%②50%③7%④3パーセント 2.施設の整備①37%②43%③17%④3% 3.保育園の行事①47%②50%③3% 4.保育園の食事①40%②43%③13%無回答1家庭 5.職員の対応①50%②44%③3%④3% 6.保育サービス①40%②50%③10%														
利用者からの意見・要望とその対応	・日祝日の保育園がもっとあればよい/日祝日に保育してくれる施設が場所も時間も不便で利用できない。社会的には、無償化の方が大きく取り上げられているが、日祝に勤務できないことで、継続が難しかったり、昇進できない等が起こり、短時間でのパート等しかできなく悪循環である。 → 中央区に休日保育が1園増えたことをお知らせした。建物の構造上難しいかもしれないが、ホールの床が冬は冷たく足全体が冷えている。安全の観点から裸足での活動は理解していますが、体の冷えが心配です。他、床暖を入れてほしいなど1件 →現状では、床暖を入れる等の対応は難しいため、保育室内にじゅうたんを敷く、室温に配慮する、また、保育室内で遊んでいるときには、靴下をはく等の対応をすることを伝える。														

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	H30年度計画	H30年度決算	差(決算-計画)				
収入	105,187	104,680	▲ 507	保育士不足は解消されたが、受け入れをしたい0歳児の希望者が少なく、0歳児の定員を満たすことがなかなかできなかった。また、配管等の修繕が多くなってきた。今後もそのようなことが予想されるので、計画的に行っていきたい。また、保育士の確保など、様々な機関を使い、年間を通して、安定した運営ができるようにしたい。	定員割れと老朽化による修繕で計画より純利益が少なくなっているが、これはやむを得ないものとする。全体としてはおおむね良好な運営ができています。		
指定管理業務収入	105,187	104,680	▲ 507				
指定管理費	103,694	103,227	▲ 467				
利用料金	492	310	▲ 182				
その他	1,001	1,143	142				
自主事業収入			0				
支出	106,099	106,898	799				
指定管理業務支出	106,099	106,898	799				
自主事業支出			0				
収入-支出	▲ 912	▲ 2,218	▲ 1,306				
利益還元			0				
法人税等			0				
純利益	-912	▲ 2,218	▲ 1,306				
▽ 説明							
0歳児クラスの定員が満たず、また、退所等も重なり、収入が減ってしまった。また、修繕費等も多くなった。							

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 ここ数年、保育士不足で園児数を抑えたり、保育士が確保できても、入所人数が少ない等、運営状況が厳しいが続いている。	園児の受け入れや時期を考慮し、また、保育士の確保に努め、安定した運営ができるようにする。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 条例に則り、適切に対応した。	今後も、条例に則り対応していく。	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
利用者には、一定の満足を得ることができたようだった。今後、さらに、利用者の理解が必要に合ってくると思われるので、日頃からの信頼関係を築き、誠実に対応していく。運営状況は、厳しい状況が続いているため、園児数の受け入れをできるだけ増やし、対応していきたい。	安定した経営状態を保つため、保育士の離職率を下げ、安定した受け入れができるようにする。また、0、1歳児の受け入れをなるべく早い時期に定員を満たせるよう計画を立てる。園舎の修繕箇所が増えてくると思われるので、修繕費として予算を充てていく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
法令を遵守し、保育サービスの向上に努めている。また、札幌市の施策に対しても積極的に取り組んでいる。引き続き職員の資質の向上を図り、日々変化する社会情勢に対応できるよう改善意識を持って保育にあたってほしい。	